

事業所名 グループホーム海の見える家2号館
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 2月16日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 元介護支援専門員
資格・経歴 介護福祉士、介護支援専門員
B:現職 看護師、介護支援専門員
資格・経歴 看護師(37年以上)、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>楽しく一日を過ごせるように、日々健康には特に細やかな配慮をし、精神的な安定が得られるようサポートしている。</p> <p>入居に至るまでのプロセスから心に寂しさを抱いたままである事を職員が十分理解し、混乱や興奮などを引き受ける包容力を忘れないようにしている。</p> <p>安全第一を常に念頭に置き、見守りを重点にした介護から、さらに「気づき」を取り入れ、より一層入居者の個別性に合わせた介護に努めている。</p> <p>職員が心身ともにゆとりを持って介護に取り組めるよう管理者は気を配り、職員一人ひとりの特技・趣味・経験を把握してそれぞれに役割担当を決め、入居者への優しい介護・楽しい会話に反映させている。</p> <p>「慌てず」「騒がず」「冷静に」をモットーに、緊急時の対応がすべての職員に出来るよう介護面プラス看護面の指導も行っている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような増づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>職員は無らず、入居者が徐々に馴染んでくるのを待ちながら思いを引き出し、生き甲斐や役割に繋いでいる。</p> <p>自然環境に恵まれており、季節に合った野外活動・畑での収穫の喜び・散歩や遠足での様々な花々との出会いや鳥のさえずり等入居者の癒しになっている。中でも朝日の昇る海を眺められる幸せは大きい。</p> <p>職員はいつもゆったりとした笑顔で入居者を受け入れ、入居者が安心して自己表現・自己主張ができるよう日々努めている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>小高い山の傾斜面に位置するホームのリビングからは、穏やかにゆっくりと行き交う船など風光明媚な絶景を遠くに眺めることができる。また、近くの山からは野鳥のさえずりが聞こえ、自然環境に恵まれた環境の中にある。</p> <p>法人代表が地域住民でもあり、地域に何か貢献したいとの深い願いと人生の先輩でもある両親への尊敬の想いから生まれたホームである。地域福祉への夢が具現化されており、利用料金を出来るだけ安価で抑え、代表者自らが介護現場と直結した支援やサービスの質向上に努めている。</p> <p>管理者が看護師資格を有しており、日常生活での看護観察に明るく、異変時の対応や医療との連携の迅速さで、早期発見・早期治療に役立っている。受診状況を詳細に記録し、かつ讀書類のファイリングはきちんと整備されており、すべての職員にその情報の徹底が図られている。また、それら看護の視点を十分に踏まえながら日々の生活介護に反映している。</p> <p>職員と入居者とのさりげないコミュニケーションがホーム全体に実に家庭的で和やかな雰囲気を出しており、家族としての機能を発揮して入居者との信頼関係へと繋がっているのが窺える。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<p>改善ではなく希望するならば、家族の方々様々な行事への参加や、家族同士の触れ合いの機会をもっと増やすことが出来れば、充実したホームの暮らしへの理解と安心感がより深まり、家族間の共通の話し合いも生まれ、グループホームとしての意義をより高められるのではと思う。</p>

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>入居者の趣味、特技を盛りこみ、役割作りや居場所作りに繋がるよう支援している。</p> <p>得意な事・出来る事には不必要に手出しをする事は無く、見守りの姿勢で取り組んでいる。</p> <p>個人情報の利用目的を書類で明示しながら説明し、同意書に承認印を押してもらっている。</p> <p>毎日の繰り返しであっても訪室時にはノックし、特に羞恥心への配慮は気を付けて行っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>認知症であっても諦めることなく、新聞の音読や計算ドリルに取り組み、頭の体操でリハビリ効果を上げている。</p> <p>管理者会議では、認知症介護について常に勉強会、研修会を重ね、ホーム内での勉強会に活用し、職員のレベルアップに努めると共に気づきや振り返りのチャンスにして、より高度な介護を提供できるよう努めている。</p> <p>問題が発生した時は緊急介護を開き、状況・原因・対応・反省と再発防止対策等を全職員で検討し、改善すべき点や事故予防策など、今後の方針に繋げている。</p> <p>避難訓練においては、傾斜地で敷地空間が狭い立地条件を踏まえ、しっかりとマニュアル作りを審には予定している。</p> <p>苦情・意見箱を設置したり、また、直接管理者が入居者や家族から意見や要望を受け付けており、申し出があれば真摯に受け止め、職員と共有を図りながら改善に努めている。</p> <p>介護が重度な入居者に対して、身体機能的に介護量の少ない入居者の寂しさや嫉妬心を軽くする配慮として、対話・耳掃除・目薬を注す介助や足の爪切り等行っている。</p> <p>感染予防においても、手洗いやうがいの促しや消毒液を設置している。また、「感染予防のお願い」と題した文書を壁に明示し、周知徹底を図っている。</p>		